

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆいはうす		公表日		令和7年3月 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		日々の児童数に合わせた職員配置を行っている。	職員配置は適切だが、急な休みなど1人抜けることがあると、予定している活動に支障が起こることが考えられるため今後職員数の検討は必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	室内は明るく、段差はなしでバリアフリーになっている。	出入口のみ少し狭いので今後検討していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		室内清掃、消毒など行い日々心地良い環境づくりを行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		児童のペースに合わせてクールダウンできる個室も整えている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		PDCAシートを使用し職員間で共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎朝のミーティングで職員の意見交換、情報共有を行い業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		会議や研修の場として提供することで、職員以外からの意見や助言を参考にしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部の研修や系列店舗での合同研修を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		保護者の方に伝わりやすいよう5領域に沿った支援内容を具体的に作成しホームページに掲載している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		えいぶるやサービス利用計画を基に、個別支援計画書の作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議を通してサービスを提供する職員の共通理解を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画作成後職員間で共有し、児童の課題に沿った支援を話し合い提供している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の活動記録、アセスメントシートをもとに評価している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5領域を含む本人支援、家族支援、移行支援、地域支援を具体的に設定し、適宜評価、見直しを行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ミーティングで集団活動や個別活動の内容を話し合い、共通認識している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		利用児童に合わせた活動内容、課題を設定したり、動の活動、制の活動を偏らないよう取り組んでいる。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		子どもの状況や成長に合わせて計画を作成、支援の提供を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		ミーティングで児童の情報共有、支援についての話し合いや役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		活動後の話し合いが難しいときは翌日の朝のミーティングで振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		児童の支援目標ごとに活動記録を行い、活動記録以外にも自由に書き込める記録用紙を活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		日々の活動記録、アセスメントシートをもとに評価し、モニタリング会議後、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分の気持ちを伝えることが難しいときは、選択肢を与えることで児童のスペースで自己決定できるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	日々の記録や資料を参考に、個別支援会議を行い、話し合った内容をもとに担当者会議などに参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		今のところ対象児童はいないが、見据えた児童がいるため情報提供できるよう検討していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	地域の児童館、図書館、公園を利用することで交流する機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳やライン、送迎時にやりとりすることで共通理解を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	相談事業所で行われるペアレントトレーニングの情報提供を行っている。	情報収集を行い、保護者の方への情報提供を増やしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に契約書や重要事項説明書など読み合わせ、内容の確認、説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリングや担当者会議で、子どもや保護者の思い、願いを確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		計画書作成後に説明を行い、再度確認してもらったうえで同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		会議だけでなく、連絡帳や電話、送迎時に困り感や悩みを聞き、適切な助言や提案を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		今後保護者を招いた活動などを行い、交流する機会を設けていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		その都度職員に共有し、話し合いを行うことで迅速で適切な対応を心がけている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月通信を発行し、活動内容を伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		気持ちに寄り添いながら児童や保護者に合わせて伝え方を工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域のごみ拾い、季節のイベント（ハロウィン、クリスマスなど）で交流する機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		毎年避難、消火訓練を取り組んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		情報提供書を提出してもらい、日々の服薬確認、発作時の対応方法を確認している。	今後も学校、家庭と連携し状況把握に努める。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			ヒヤリハットの事例や内容を職員間で再度確認、共有し、事故防止につなげる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止の研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		研修を行い、記載方法などを確認したうえで保護者に説明、了解を得ている。		